

まったく新しい
クルマに進化
「新型プリウス」
岡山トヨタから誕生！



Photo:プリウスGツーリングセレクション

| | |
|--------------------------------|--------------|
| プリウスS | 車両本体価格 215万円 |
| プリウスS ⁺ ツーリングセレクション | 車両本体価格 231万円 |
| プリウスG | 車両本体価格 241万円 |
| プリウスG ⁺ ツーリングセレクション | 車両本体価格 257万円 |

新型プリウス

世界トップ*の低燃費35.5 / を達成
世界トップレベルの排出ガス基準をもクリア
環境負荷物質も大幅に低減

*ガソリン車において

1.5 でありながら2.0 車を上回る発進・加速性能
「EVドライブモード」ならモーターのみで走行可能
55km/h以下で約1kmの走行が可能

世界初

新型プリウスにふさわしい未来感と
実用性を兼ね備えた先進装備。

トヨタ初 プッシュボタンスタート

カードキー標準装備

Sの場合

カードキーを
キースロットに差しします。

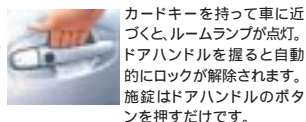


ブレーキペダルを踏みながら、スタート & ストップボタンを押すだけ。

スマートエントリー
& スタート標準装備

Gの場合

カードキーはポケットや
バッグの中に入れてままでOK



カードキーを持って車に近づくくと、ルームランプが点灯。ドアハンドルを握ると自動的にロックが解除されます。施錠はドアハンドルのボタンを押すだけです。

未来感とユニバーサルデザインの思想が調和した
乗る人すべてに優しい装備とインテリア



世界初

高度な制御で燃費向上にも貢献する湿度コントロール付電動インバータエアコン



視線移動が少なくて見やすい新センターメーター

行政補助金を受けられる唯一の割賦制度
「エコカープラン」登場

ハイブリッド車の先駆者
岡山トヨタならメンテナンスも万全
《プリウス専用メンテナンスパックもご用意しています。》

詳しくはスタッフにお尋ねください。

世界初 インテリジェント・パーキング・アシスト

車庫入れや縦列駐車
が苦手なドライバーも
インテリジェント・パー
キング・アシストを使え
ば、ステアリング操作
は不要。自動操舵によ
って簡単にできます。



タッチパネル操作のしかた



縦列か車庫入れかを
選択します。



矢印で駐車位置を微調整
し、確定ボタンを押します。

日本初 エレクトロシフトマチック



電子制御による軽快な操作を
実現。駐車の際は独立したパー
キングレンジボタンを使用。夜
間はイルミネーションが点灯。



注意事項を確認し、
了解ボタンを押します。

「ハイブリッド」をキーワードに エコカーの未来をひらくトヨタ

トヨタは、1997年に世界初の量産ハイブリッド車「プリウス」を発売して以来、ミッドサイズセダン、高級セダン、クワトロイナル、大型路線バスなど広範な車種にハイブリッドシステムを搭載し、この領域におけるデファクトスタンダード

を確立してきました。この燃料や動力源を確保し、低燃費と低排出ガスを両立させ、さらに優れた運動性能をも実現するハイブリッド技術をトヨタではさらに代替エネルギー、電気自動車、そして燃料電池車へと応用を進めています。

クラウンマイルドに搭載する
ハイブリッドシステムTHS-M
(トヨタマイルドハイブリッドシステム)



●クラウン ロイヤル マイルドハイブリッド
3000 Sパッケージ 車両本体価格 365万円
～ 3000 Uパッケージ 車両本体価格 442万円

エスティマハイブリッドに搭載する
ハイブリッドシステムTHS-C
(トヨタハイブリッドシステム-CVT)



●エスティマ ハイブリッド
標準 8人乗り 車両本体価格 335万円
Gセレクション 8人乗り 車両本体価格 380万円 7人乗りは3万円高

3リットル直列6気筒ガソリンエンジンと、ベルトにより連結した小型モーター(発電機兼用)その駆動に適した電源系として電圧36Vの小型2次バッテリー、および制御装置などを組み合わせています。車両停車時にエンジンを自動停止(アイドルストップ)させ、モーターで車両前進させるとともにエンジンを始動。通常走行時はエンジンが車両を駆動し、減速・制動時にはモーターが発電機として作動。減速で失われる運動エネルギーを電気エネルギーに変換してバッテリーに回収します。また、アイドルストップ時にもエアコンをモーターにより駆動し作動させる機能を持たせ、快適性も実現しています。

THS-Cは、エンジン+モーターにSuper CVT**を加え、前後を駆動する次世代ハイブリッドシステム。そして後輪をモーターで駆動し、そのモーターでエネルギー回生も行う世界初の電気式4WDシステムがE-Four。このTHS-CとE-Fourが、走行状況に合わせて最も効率の良い走り方を選ぶことで、超低燃費・超低排出ガスを実現しています。

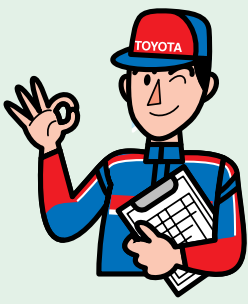
*1 CVT: Continuously variable Transmission

ご存知ですか
ハイブリッド車購入の
「公的補助制度」

クリーンエネルギー自動車普及事業はハイブリッド車と電気自動車の購入を対象に、行政機関が補助金を交付する制度です。補助金交付の資格者となるのは、(1)法人・自治体・(2)個人・個人事業主で(2)の個人・個人事業主の場合、年間走行距離が6000km以上のクルマからの買い替えて、自家用車を通勤や仕事で使用する方が対象になります。詳しくは岡山トヨタ各店にお問い合わせください。

岡山トヨタなら
ハイブリッド車の
整備技術にも安心

電気系や制御系など、これまでの自動車にない高度で多岐にわたる先進技術を駆使するハイブリッド車。もちろんその整備技術にも高レベルな専門性が問われます。でもご安心ください。岡山トヨタは1997年のプリウス発売開始から今日まで一貫して、多様なハイブリッド車整備技術を蓄積。エリア随一のエキスパートディーラーとして、多くのお客様からの信頼を寄せていただいています。



トヨタ自動車工場見学レポート



山陽新聞エコプログラム「地球環境と私たち」の一環である「トヨタ自動車工場・トヨタ博物館見学」が、親子連れら約四十人が参加して七月二十五、二十六の両日行われました。

二十五日正午すぎ、参加者を乗せたバスはトヨタ自動車人と森の共生を考えた「トヨタの森」(愛知県豊田市)に到着。中核施設の「里山学習館」(エコの森ハウス)を中心に見学した参加者は、森が本来持つ自然の力に触れ、古人の暮らしの知恵を実体験しました。

次に参加者が訪れたのは今回のメインとなる高岡工場。トヨタ自動車企業PR部・齊藤あかねさんの案内で同工場の排水処理システム「クリーンアクアセンター」と自動車組立ラインを見学しました。参加者は七つの排水処理工程を経て浄化される工場排水や人とロボットが役割分担して効率よく作業する様子を興味深く見て回りました。



工場を後にした参加者は、未来の自動車づくりの取り組みなどが一目で分かるトヨタ会館を訪れました。会館にはすでに実用化されている水素と酸素の科学反応で走る排ガスの燃料電池車の仕組みなどが実物や映像音響を用いて分かりやすく紹介されていました。参加者はそう遠くない未来の「エコカー」に夢を膨らませていました。

翌日参加者は本格オフロードコースを備えた自然いっぱい、さなげアドベンチャーフィールド(愛知県豊田市)で、バギーや四輪駆動車の体験走行を楽しんだ後、トヨタ博物館を訪れ自動車の歴史を学習しました。同館には本館と新館があり、本館にはガソリン車が誕生した十九世紀末から二十世紀にかけての実用車を中心とした世界の車約百二十台が展示されています。新館には日本のモータリゼーションの歩みと生活文化の变せんが、一目で分かる時代別の六つのゾーンがあります。参加者は、同館で見ることができないような希少車やクラシックカーの数々に目を輝かせていました。